

平成26年度 茅野市社会福祉協議会事業報告

茅野市社会福祉協議会では、以下の2項目を重点事業方針として、各事業に取り組みました。

1 組織経営基盤の確立

茅野市社協発展強化計画に基づき、新たな社協経営体制の構築に取り組みました。経営委員会は社協運営の中核として機能するよう会長、副会長を中心とした少数体制とし、課題に対してより詳細な検討と迅速な対応を可能にしました。理事会は社協の執行機関としての役割を果たせるよう、各分野からより専門的な知識、経験を有する方々を理事として選任し、開催回数も増やすことにより、これまでの慣例的な協議事項に加えて、社協経営のPDCAに基づき、タイムリーに重要事項を協議、決定することができました。評議員会は、社会福祉法の趣旨にのっとり、より広範な分野の方々を選任することができましたが、限られた会議と研修の中では、茅野市社協について十分理解していただいたうえで協議に臨んでいただくことは不十分な状況でした。

事務事業評価については、年間通じて取り組みを行いましたが、最終的なヒヤリング等に予想以上に時間を要し、十分な評価を行うことができず、今後の課題となっています。

総体的には、経営委員会と理事会の機能分担が明確となり、それぞれが本来の役割を果たすことができたことは、今後の社協経営にとっても大きな成果であったと考えます。

2 あらゆる生活課題の早期発見とそれを解決につなげる仕組みの確立

生活困窮者自立支援制度について、関連の説明会や研修会に参加し、積極的な情報収集を行いました。平成27年度からの本格実施に向けては、行政と十分な協議を重ねることはできませんでしたが、生活福祉資金の貸付事業などの関連する既存事業の実施においては、行政の担当部署との連携を図るとともに社協内の連携体制を強化し、個別支援に取り組むことができました。

【各係の業務分担と主な取り組み】

I 総務・企画係

地域に開かれた組織として責任を果たすために、経営委員会、理事会、評議員会の新体制の構築を図り、社協発展強化計画のPDCAに基づき社協の運営の透明性と中立性、公平さの確保が図れるよう努めました。

職員としての意識及び資質の向上に努めるために、係ごとの事務分掌の明確化など社協体制の充実、職員ワーキンググループの開催など、情報の共有を図り総合的な支援ができる体制づくりに努めました。

社協発展強化計画に基づき、事務事業評価を継続的に実施するとともに事務事業の見直し、効率的な社協運営が図れるよう努めました。

平成26年度は、以下の5項目を重点にして各事業に取り組みました。

(1) 理事会、評議員会の新体制の構築及び役員研修会の開催

平成26年度は、理事、評議員の改選年度にあたり、理事・評議員には専門的分野の経験、提言を受けられるよう広い分野から参画していただき、民間から新会長を選任し新体制の構築を図ると共に、理事、評議員の合同研修会を開催しました。

(2) 経営委員会の役割と新体制の構築

新体制に向けて、経営委員会のあり方、役割を明確にして、経営方針の迅速な検討を進めてきました。

(3) 職員の意識及び資質向上のための研修の実施

社協の役割を理解するため、理事、評議員と合同研修会を開催しました。また、聴覚障害者の方に、あいさつや自己紹介などの手話を指導していただき事務局内の朝礼で、覚えた手話を練習しています。

(4) 平成27年度からの会計業務に関し、会計基準の見直しと市会計業務からの独立のための準備 会計独立に向け、新しい会計基準に則って、全社協のモデル経理規程を基に新経理規程を制定しました。

(5) 災害等に備え、社協の役割の確認及び職員行動マニュアルの整備など災害時対応マニュアル等の策定

平成26年度は、情報収集のみで、具体的な取り組みができませんでした。

II 地域生活支援係

生活問題の早期発見や潜在的なニーズの把握を積極的に行い、生活のしづらさを抱えた個人やその家族に寄り添い、共に課題解決ができるよう総合的な支援に務めました。具体的には、総合相談事業、貸付事業、日常生活自立支援事業、シャララ・ほっとサービス等の担当事業を集約整理し、事務局の担当職員と保健福祉サービスセンターのCSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）とが連携し、課題解決を図るための支援を実践してきました。

平成26年度は、以下の4項目を重点にして各事業に取り組みました。

(1) 潜在的な生活課題・福祉課題の把握

個別訪問活動や小地域ネットワーク活動を通じて構築したネットワーク体制等を基盤に、要援護者を早期に発見し、必要なサービスに繋ぐといった機能の充実・強化に努めました。

(2) 個別の相談・支援にかかわる社協事業との連携

課題解決のために、総合相談事業、貸付事業、日常生活自立支援事業などの制度を活用し、担当職員と連携して問題解決に繋げる支援体制を構築しました。

(3) 支えあい活動を実践するためのネットワークづくり

地区コミュニティセンターや保健福祉サービスセンターと協働し、各地区の特色を活かした地区社協事業の展開や地区行動計画の策定、福祉推進委員活動の支援を実践しました。

(4) 貸付事業等を中心にした生活困窮者の課題解決

利用者の貸付審査や償還指導だけでなく、家計収支全体の改善を図り、生活の困窮状態から早期に脱却できるよう支援に努めました。

III 在宅福祉係

在宅福祉係は、介護保険法及び障害者総合支援法関係の事業を実施しています。

社会福祉協議会が介護事業を行う基本理念を再認識し、質の高い介護サービスを提供するために研修等を重ね、地域生活支援係や各保健福祉サービスセンターとの連携を密にしながら利用者へのより良いサービス提供に努めました。

平成26年度は以下の5項目を重点に事業に取り組みました。

(1) 利用者の立場にたった福祉サービスの提供

内部研修（介護スタッフ及び合同ヘルパー研修会）や外部研修を積極的に行い、職員の資質向上に努めました。また、介護スタッフとして正しい接遇対応についても介護職員全員で学び

ました。

(2) 介護保険法、障害者総合支援法等の法令遵守

平成26年10月9日に県指導監査が西部デイサービスセンターにて実施されましたが、特に大きな指摘事項はありませんでした。

(3) 社協内外における情報の共有や連携強化による地域福祉向上への貢献

情報共有の取り組みの1つとしての「社協相談受付表」を全介護スタッフで使用して情報共有と連携強化に努め、各保健福祉サービスセンターの打合せ会議にも積極的に参加し連携を密にしました。

(4) 介護人材の定着と働きやすい職場環境づくり

4月23日にホームヘルパー合同会議を開催し、「社協事業計画説明」や「働きやすい職場環境づくり」のためにどうするか、各グループに分かれ検討し、11月26日には、「緊急時素早く対応できるように」と応急手当講習会を茅野市消防署職員に講師を依頼し実施しました。

(5) 社会福祉士・介護福祉士等の現場実習生の受け入れによる福祉人材育成への協力

平成26年度は、長野県福祉大学校5名、松本医療福祉専門学校3名、松本短期大学4名、長野大学1名の学生を受入れ、研修していただきました。

研修先 各訪問介護事業所・西部デイサービスセンター・あすなろセンター

IV ボランティア・市民活動センター

ボランティア・市民活動センターは、市民の誰もが主体的にまちづくりに参画できる環境づくりや意識づくりに取り組みました。

具体的には、シャララカレッジやいきいきサロンサミットなど市全域を対象に各種講座や研修会を開催するほか、身近な地域でのボランティア活動を様々な形で支援しました。また、各学校を中心に、子どもたちに福祉の心を育む福祉教育・学習の機会を提供しました。

平成26年度は、以下の5項目を重点にして各事業に取り組みました。

(1) ボランティアの輪を広げる企画及び機会の創設

ボランティア・市民活動センター運営委員会と共に内容を検討した連続講座シャララカレッジの開催で、新たなボランティア活動と活動者が発掘できる内容の企画を行いました。

(2) ボランティアグループの活動が活性化するよう支援

「ふれあいフェスティバル」において、それぞれのボランティアグループの活動体験コーナーを設け、お互いの活動の理解や情報交換をしました。

(3) 地区ボランティア活動に対する支援の充実

各地区ボランティアの会の会議やサロンへ出席し、活動の課題や現状把握に努めました。また、地区ボランティアコーディネーター連絡会の開催時を利用し、地域で実践できるレクリエーションのワークショップを行いました。

(4) 福祉の心を育む福祉教育・学習を推進

出前福祉教室の実践を開催し、地域の当事者の方に協力していただき、交流を通して、福祉の心を育む福祉教育・学習の機会を提供しました。

(5) 災害ボランティアセンター体制整備及び広報の充実

茅野市の総合防災訓練における、救援物資の搬入と搬送、保管と配給について、市民の参加を得て実践しました。

【事業の概要】

1 法人運営事業

(1) 協議会事業 平成26年度決算額 684,000円 (平成25年度決算額 146,000円)

① 経営委員会・理事会・評議員会の運営事業

新体制整備により、それぞれの具体的な役割を明確化するとともに、「社協の置かれている立場や果たすべき役割」を理解していただくための役員研修会を開催しました。

社協の活性化、事業の推進充実強化ができるよう経営委員会を開催し、事業報告、決算の承認、新会長の互選、副会長の選任等をしていただきました。

○経営委員会・理事会・評議員会の開催

開催日	会議名	主な内容
5月7日(水)	経営委員会	・平成26年度社協経営体制について
5月23日(金)	経営委員会	・平成25年度事業報告及び決算について
5月27日(火)	理事会	・役職交替に伴う評議員の選任 ・平成25年度事業報告及び決算の承認
5月30日(金)	評議員会	・役職交替に伴う役員の選任 ・平成25年度事業報告及び決算の承認
6月24日(火)	経営委員会	・役員体制について
6月26日(木)	評議員会	・任期満了に伴う役員の選任
7月1日(火)	理事会	・任期満了に伴う正副会長等の選任
7月15日(火)	経営委員会	・新経営委員の役割について ・役員等の報酬について ・社協のPDCAについて
10月21日(火)	経営委員会	・茅野市社会福祉協議会定款の一部変更について ・理事・評議員の報酬に関するアンケート結果について ・新会計基準移行について ・発展強化計画に基づく職員ワーキングについて ・上半期の事業及び予算執行について ・市人件費補助金について ・社協積立金について ・(仮)市民活動センターについて ・市長との懇談会について
10月29日(水)	理事会	・評議員の選任 ・定款の一部変更
10月31日(金)	評議員会	・定款の一部変更
11月28日(金)	経営委員会	・給与規程等の一部改正について ・経理規程の一部改正について ・公印管理規程制定について ・平成26年度一般会計補正予算(第1号)について ・平成26年度就労支援事業特別会計補正予算(第1号)について ・理事、監事、評議員報酬について ・平成27年度事業に対する茅野市補助金について

開催日	会議名	主な内容
12月5日（金）	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程の一部改正 ・経理規程の一部改正 ・公印管理規程の制定 ・平成26年度一般会計補正予算（第1号）の承認 ・平成26年度就労支援事業特別会計補正予算（第1号）の承認
12月9日（火）	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・公印管理規程の制定 ・平成26年度一般会計補正予算（第1号）の承認 ・平成26年度就労支援事業特別会計補正予算（第1号）の承認
1月13日（火）	経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回理事会について・市からの補助金に係る対応について
1月13日（火）	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任について・市からの補助金に係る対応について
2月20日（金）	経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度予算について
3月17日（火）	経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回理事会、第5回評議員会議案について
3月24日（火）	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の一部変更 ・経理規程の制定 ・給与規程の一部改正 ・旅費規程の制定 ・役員及び役員等の費用弁償に関する規程の制定 ・暮らしのつなぎ資金貸付金徴収不能処理 ・平成26年度一般会計補正予算（第2号）の承認 ・平成26年度就労支援事業特別会計補正予算（第2号）の承認 ・平成27年度事業計画及び一般会計当初予算の承認
3月30日（月）	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の一部変更 ・経理規程の制定 ・旅費規程の制定 ・役員及び役員等の費用弁償に関する規程の制定 ・暮らしのつなぎ資金貸付金徴収不能処理 ・平成26年度一般会計補正予算（第2号）の承認 ・平成26年度就労支援事業特別会計補正予算（第2号）の承認 ・平成27年度事業計画及び一般会計予算の承認

○定例監査の実施

5月20日（火）	平成25年度の事務事業・決算等について
----------	---------------------

○役員・評議員研修事業

評議員会に合わせて評議員研修会、役職員合同研修会開催、諏訪ブロック社協、県社協主催の研修会に参加しました。

開催日	内容
6月26日（木）	評議員研修会 <参加者：評議員・職員 36名> 「評議員の役割」「地域福祉とは」
8月8日（金）	長野県内社会福祉協議会トップセミナー <参加者：理事・職員 5名> 「地域包括ケア時代に社会福祉協議会は生き残れるか」 講師：特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所理事長 大橋謙策氏

開催日	内容
10月23日（木）	諏訪ブロック社協 役員及び職員合同研修会 <参加者：理事・職員 9名> 「改めて地域における社会福祉協議会の役割を考える」 講師：立川市社会福祉協議会地域生活支援課長 立川市南部西ふじみ地域包括支援センター長 山本繁樹氏
2月17日（火）	役職員研修会 <参加者：理事、評議員31名・職員 29名> 「社会福祉の動向と行政・社協の取り組み課題 ―地域包括ケアシステム―」 講師：茅野市社会福祉協議会地域福祉アドバイザー 原田正樹氏

(2) 事務局事業

83,168,311円 (83,160,774円)

① 社協発展強化計画の推進

社協組織としての方向性や運営方針、体制整備・強化を図るため、社協全体で協議するテーマごとに職員ワーキングを開催し実践するための具体案などの検討を協議しました。

② 諸規定の整備

定款の一部変更、給与規程の一部改正、経理規程、役員報酬規程、旅費規程等の制定を行いました。

③ 新会計基準移行

平成27年度からの新会計基準移行に伴い、他市の情報を収集し、茅野市社協の新たな会計区分の設定、勘定科目の設定を行い、新会計基準に対応した新経理規程の制定を行いました。

④ 会計業務独立準備

平成27年度の会計の独立にむけて、他市の会計業務調査、市会計課との協議を行うと共に、会計業務の整理、新規預金通帳の作成、銀行等との協議を行いました。

⑤ 職員研修事業

職員の資質向上のため、独自の研修及び市の研修会へ参加しました。

開催日	内容
4月28日（月）	生活困窮者支援とCSW研修<参加者：15名> 講師：茅野市社会福祉協議会地域福祉アドバイザー 原田正樹氏
6月18日（水）	クロスロード研修会<参加者：42名> 「災害クロスロード」 講師：長野県 危機管理防災課職員
8月20日（水） 8月27日（水）	情報セキュリティ研修会<参加者：16名> 「情報セキュリティについて」 講師：茅野市役所 企画課情報推進係職員

⑥ 災害対応マニュアル等策定整備事業

災害等に備え、社協の役割の確認及び職員の行動マニュアルの整備など災害時対応マニュアルの策定は、平成26年度は、情報収集のみで、具体的な取り組みができませんでした。

⑦ 権利擁護研究推進事業

法人後見受任について、市内のニーズ調査を行いました。その結果、ニーズがあると判断し、茅野市社協で法人後見事業を行っていくことが望ましいとの方向性を出しました。合わせて、県内で実際に法人後見を実施している市社協の取り組みについて、情報収集を行いました。

今後は、実際に事業が実施可能かどうかを判断するため、財源や担当職員の確保、運営面、他専門職からの協力などについて検討していきます。

⑧ 広報啓発事業

誰もが見やすく、タイムリーな情報提供を行うため、職員がホームページを随時更新できるようにしました。

⑨ 社協会費の収納業務

茅野市社協は、主な自主財源の一つとなっている会費を、当法人の趣旨にご理解・ご賛同をいたadenaかなかで納めていただいております。納入いただく会費の金額は普通会員（1,000円）、賛助会員（2,000円）、特別会員（3,000円以上）となっています。平成26年度の協力世帯は9,075世帯で、全世帯の40.9%でした。

平成26年度 会費会員別集計表

地区名	普通会員 (1~1,999円)		賛助会員 (2,000~2,999円)		特別会員 (3,000円以上)		合計	
	世帯数 (件)	金額 (円)	世帯数 (件)	金額 (円)	世帯数 (件)	金額 (円)	世帯数 (件)	金額 (円)
ちの	1,594	1,582,300	120	240,000	49	168,000	1,763	1,990,300
宮川	1,555	1,543,600	80	160,000	48	183,000	1,683	1,886,600
米沢	468	466,000	27	54,000	15	54,000	510	574,000
豊平	917	916,300	19	38,000	23	75,000	959	1,029,300
玉川	1,738	1,777,489	67	134,000	25	85,000	1,830	1,996,489
泉野	355	351,080	16	32,000	12	38,000	383	421,080
金沢	507	504,800	32	64,000	16	57,000	555	625,800
湖東	476	473,100	19	38,000	15	54,000	510	565,100
北山	592	591,000	18	36,000	10	30,000	620	657,000
中大塩	227	225,500	19	38,000	16	50,000	262	313,500
地区外	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8,429	8,431,169	417	834,000	229	794,000	9,075	10,059,169

(H26.7.1 世帯数 22,213 件 収納率 40.9 %)

(平成25年度 会費実績)

地区名	普通会員		賛助会員		特別会員		合計	
	世帯数	金額	世帯数	金額	世帯数	金額	世帯数	金額
合計	8,584	8,494,150	444	888,000	236	824,000	9,264	10,206,150

(H25.7.1 世帯数 21,993 件 収納率 42.1 %)

2 社会福祉事業

5,249,000円(4,251,000円)

① 社会福祉団体助成金交付業務

8団体へ790,000円を交付しました。

- ・茅野市社会を明るくする運動実行委員会 80,000円
- ・茅野市遺族会 190,000円
- ・茅野市手をつなぐ育成会 50,000円
- ・茅野市赤十字奉仕団 30,000円
- ・茅野市身体障害者福祉協会 120,000円
- ・茅野市保護司会 90,000円
- ・茅野市民生児童委員協議会 200,000円
- ・茅野市少年警察ボランティア協会 30,000円

② 第51回茅野市社会福祉大会の開催

12月20日(土)、マリオローヤル会館にて開催

- ・参加者：約150名
 - ・テーマ 『自分らしく生きる、生き方のコツ』
- ～ 自分を大切にすることは、地域を愛するという事 ～
- ・表彰（一般功労者：4名、地域福祉功労者：3団体、社会福祉貢献者：9名・3団体）
 - ・福祉講演会
- 講師 松本市 神宮寺住職 高橋卓志氏
演題 『生き方のコツ、死に方の選択』

③ 広報啓発事業

社協活動や地域活動情報の提供を行うため社協情報紙「やらざあ」の発行を行いました。
年6回発行、全戸配布 19,100部

④ 第63回長野県社会福祉大会共催事業

9月10日（水）、茅野市民館マルチホールにて開催

- ・参加者：約750名
 - ・テーマ 『人と人とのつながり 支えあう地域づくり』
 - ・講演『経験 ～辛さにも恵まれ、幸せにも恵まれ～』
- 講師 金澤泰子氏
揮毫 金澤翔子氏

3 生活福祉資金貸付事業

2,911,300円（2,920,200円）

低所得者、障害者または高齢者に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的に実施しました。

① 総合支援資金

失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援（就労支援、家計指導等）と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯に、必要な生活費用を貸付けました。

② 離職者支援資金

生計中心者の失業によって、生計の維持が困難になった世帯に貸し付けを行いました。

③ 福祉資金

○福祉費

低所得者、高齢者、身体障害者等の世帯に日常生活を送る上で、または自立生活に資するために一時的に必要であると見込まれる費用を貸付けました。

○緊急小口資金

緊急かつ一時的に生計維持が困難となり収入の見込みがある場合に、一時的な生活費を貸付けました。

○教育支援資金

低所得世帯に属する者が、高等学校、大学または高等専門学校に入学、就学するための必要経費を貸付けました。

④ 不動産担保型生活資金

低所得の高齢者世帯または要保護の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住みつづけることを希望する低所得の高齢者世帯に対し、該当不動産（住居用不動産の土地・建物）を担保として生活費を貸付けました。

⑤ 臨時特例つなぎ資金

離職者を支援する公的給付制度（失業等給付、住宅手当等）または公的貸付制度（就職安定

資金融資等)の申請を受理されており、かつ当該給付等の開始までの生活に困窮している方に貸し付けを行いました。

資 金 名	平成26年度貸付		平成25年度貸付		貸付残額	
	件数	金額 (元金)	件数	金額 (元金)	件数	金額 (利子含む)
総合支援資金	0	0円	1	218,000円	12	3,267,486円
離職者支援資金	0	0円	0	0円	1	236,760円
福祉資金	2	180,000円	5	331,000円	24	10,777,452円
不動産担保型長期支援資金	0	0円	0	0円	1	5,425,000円
臨時特例つなぎ資金	1	20,000円	0	0円	0	0円
合計	3	200,000円	6	549,000円	38	19,706,698円

○貸付決定数：3件（臨時特例つなぎ資金1件、緊急小口資金2件）

○貸付金額計：200,000円

○新規相談人数：22人

○償還完了件数：6件

○訪問、電話等による家計相談・償還指導件数359件（暮らしのつなぎ資金相談との合計）

4 共同募金配分金事業

5,952,597円（6,116,430円）

平成26年度は、市社会福祉協議会から地区社協事業への助成、小・中・高校の福祉活動への助成、市内ボランティアグループへの活動助成を行いました。

各学校の福祉活動助成及びボランティア活動助成の詳細については、ボランティア・市民活動センター「社会福祉普及校」（p18）及び「ボランティア活動助成金」（p28.29）参照

・市社協への配分	1,497,000円
・小・中・高校の福祉普及活動への配分	420,000円
・地区社協への配分	2,846,597円
・ボランティアグループへの配分	1,083,000円
計	5,846,597円

① 茅野市共同募金委員会事務局

長野県共同募金会茅野市共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動全般のとりまとめを行いました。

○募金期間：10月1日～12月31日

○募金総額：9,027,223円（前年度9,446,597円）

② 災害義援金の取り組み

災害義援金 … 日本国内で発生した災害に対して、緊急募金等に取り組んできました。

義援金名	募金額	送付先
東日本大震災義援金	627円	日本赤十字社
7.9南木曾町豪雨災害義援金	19,089円 (各6,363円)	長野県共同募金会
平成26年8月京都府豪雨災害義援金		京都府共同募金会
平成26年広島県大雨災害義援金		広島県共同募金会
H26.11.22長野県神城断層地震災害義援金	22,044円	長野県共同募金会

5 希望の旅事業

304,000円 (301,000円)

日ごろ、遠方に出かける機会の少ない障害のある方々を対象に、ゆっくりと楽しいひと時を過ごし、参加者同士の交流を深めていただくことを目的として実施しました。

実施日	行き先	参加者
10月1日(水)	富士山5合目	障害者 : 16名 家族介助者 : 8名 ボランティア他 : 8名 計32名

6 ふれあい保健福祉事業

35,019,018円 (24,381,467円)

① ひとり暮らし安心コール事業

ひとり暮らしの高齢者と定期的に電話でコミュニケーションを図ることにより、安否確認や健康状態、生活状況を確認すると共に、孤独感の緩和を目的に実施しました。

○事業内容：最大週2回本人の希望する曜日と時間に協力者より電話をかける。

○協力者：8名

○利用者：おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者 延136名

○通話実績（不在回数除く）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	77	71	65	79	89	92	88	78	71	63	73	81	927

② 介護予防通所事業（塩つぼの湯デイサービス）

特定高齢者の認定を受けた方で、通所サービスを利用することによって要介護状態なるのを未然に防止することが有効な方を対象に、老人福祉センター塩つぼの湯において、送迎・食事・相談・介護予防メニュー（選択）及び交流活動等を実施しました。作業療法士による運動機能評価や個別指導を実施しました。

○実施日：毎週火・水・木・金・土

○利用時間：午前10時～午後4時

○実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	21	20	19	23	20	19	23	21	18	20	19	19	242
利用者数	171	174	162	184	146	163	192	163	134	160	172	159	1,941

③ 外出支援事業（移送サービス）

一般の交通機関を利用して外出することが困難な市民の生活圏の拡大と社会参加を支援するために、福祉車両4台で送迎サービスを実施しています。

平成26年度は、運行協力員14名とタクシー業者2社により実施しました。

○利用人数 80名（内 男性24名、女性56名） *新規登録 14名

○利用件数 *前年度と比較し、総件数で302件の増

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	477	441	465	455	495	453	466	436	457	449	414	436	5,444

○主な利用目的

中央病院通院	36件	中央病院透析	2,018件	ほのぼの透析室	1,749件
その他の場所へ通院	650件	その他（自己実現等）	227件	キャンセル	64件

④ 配食サービス事業（おたっしや弁当）

高齢者や障害のある方などに栄養のバランスのとれた食事を提供すると共に、配達員による見守り活動としても有効に機能しています。

○弁 当 代：450円（内 個人負担350円）、おかずのみ：370円（内 個人負担270円）

○委 託 業 者：信州配食サービス

○実施状況

利用者（対象者）	人数
65歳以上の独り暮らしの方	130名
高齢者のみの世帯で、食事づくりが困難な方	65名
ひとり暮らしの障害者	7名
寝たきりの人がいる2人世帯	4名
その他 ①昼間は高齢者のみとなり、調理が困難な方	56名
②昼間は障害者のみとなり、調理が困難な方	8名
③社協会長が必要と認めた方	10名
合計	280名

○利用実績 *前年度と比較し、11,358食の増

延べ利用者数	新規	延べ配食数	おかずのみ
1,795人	150人	33,736食	22,029食

⑤ 家庭介護者交流事業（介護者リフレッシュ事業）

家庭で介護をされている方々を対象に、食事や温泉入浴、レクリエーションなどを通じて相互の情報交換や仲間作りをしていただきます。また、介護や健康相談などに応じることで、悩みや心配事の解決を図りました。

○実施状況

実施日	行き先	参加者	内容
第1回 10月16日	白州・清里	32名	工場見学、昼食会
第2回 3月13日	蓼科温泉ホテル親湯	33名	温泉入浴、昼食会、レクリエーション

7 総合相談事業

408,000円（525,000円）

① 心配ごと相談

福祉・生計・住宅・家族その他の心配ごとに対し、経験豊かな民生児童委員経験者が相談に応じ、悩みや問題を傾聴する中で、心の整理の糸口を探します。また必要に応じ、社協の法律相談などの専門相談窓口への紹介や他の専門機関への橋渡しをしています。

○開設日時 毎週金曜日 午前9時～午後0時

○会 場 茅野市総合福祉センター 第4会議室

○相 談 員 民生児童委員経験者または学識経験者（4名）及び社協事務局長
計5名（相談日1名体制で対応）

○相談件数

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
開 設 日	51日	48日	50日	49日	49日
相談件数	34件	27件	37件	45件	39件

○対応状況 助言：31件、他機関を紹介：17件、解決：10件（重複有）

② 結婚相談

結婚相談は、8名の相談員で構成され、広く結婚の紹介ならびに相談に応じ、結婚成立のた

めに寄与すると共に、福祉の増進に務めています。

平成26年度は、過去最高の成婚数となりました。

- 開設日時 毎月第1・第3土曜日 午後1時～午後4時
毎月第2・第4金曜日 午後6時30分～午後8時30分

○開催回数 47回（月4回）

○会場 茅野市総合福祉センター 第4会議室

○相談員 委嘱した結婚相談員（相談日には3～4名体制で対応）

○新規登録者数 男性：29名（+2名）、女性：11名（-2名）※（ ）内は前年度比

○成婚数 9件≪内 登録者同士の成婚3件≫（+2件）※（ ）内は前年度比

○相談件数

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
男性	229件	186件	196件	238件	358件
女性	82件	105件	70件	79件	156件
計	311件	291件	266件	317件	514件
本人来所率	98.1%	96.2%	92.5%	94.0%	90.1%

③ 司法書士の法律相談

身近な法律相談窓口として、住民のあらゆる生活問題を受け止め、問題解決につなげていくための、専門的な助言（小額訴訟手続きや多重債務に関する助言等）や情報提供を行なっています。

また、必要に応じて弁護士あるいは家庭裁判所等の専門機関への紹介を行なっています。

○開設日時 毎月第2水曜日 午後3時～午後5時 完全予約制（1日3件まで）

○会場 茅野市総合福祉センター 第3会議室

○相談員 司法書士会茅野地区会（成年後見制度研修修了者4名）

○相談件数

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
開設日	12日	8日	12日	12日	12日
相談件数	17件	14件	22件	22件	23件

○対応状況 解決：10件、他機関を紹介：5件、その他：4件

④ 心の健康相談室

家族のことや職場などでの人間関係により精神的に不安定な状態にある方に対し、問題解決に向けて適切なカウンセリングを行い、精神的な健康を援助しています。

心配ごと相談などからの紹介を受けて、随時開設をしています。

相談援助内容は完全予約制の面接相談と相談者によっては、電話相談にも応じています。

○開設日時 随時（祝祭日及び年末年始を除く）

○会場 茅野市総合福祉センター 第4会議室

○相談員 小泉千波さん（精神保健福祉士）

○相談件数

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
開設日	2日	3日	3日	3日	6日
相談件数	1件	3件	3件	3件	7件
相談来訪者数(延べ)	1名	3名	3名	3名	7名

○対応状況 解決：0件、他機関を紹介：1件、その他：0件

⑤ あなたと家族の悩み相談

病気や事故等で家族や身内を亡くされた方や、現在闘病中の方や悩みを抱えている方の心のケアについて電話相談に応じ、癒しやその後の精神的自立を援助することを目的としています。

相談援助の内容は、傾聴を主とし、相談者が自立できる方向付けの援助、地域の自助グループについての情報提供を行います。また、必要に応じて医師、臨床心理士、宗教家、カウンセラー等の専門相談員を紹介しています。

相談は、ボランティアグループ「家族のサポートライン」のメンバーが担当し、社協は、相談室や電話の貸し出し等の支援を行っています。

○開設日時 毎月第1月曜日 午後2時～午後4時

○会 場 茅野市総合福祉センター 第4会議室

○相 談 員 市民活動を通じて、ターミナルケア活動に実績があり、社協の指定する研修を修了した方々（家族のサポートライン）に委嘱しています。

○相談件数

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
開 設 日	12日	12日	21日	21日	20日
相談件数	1件	3件	4件	4件	9件

8 小地域福祉活動推進事業

3,302,000円（3,623,000円）

① 地区社会福祉協議会活動の支援

各地区の住民自身による福祉活動を推進していただくために、地区社協活動を各地区コミュニティセンターと協働で支援しています。

○地区社協の主な活動

- ・ 地区地域福祉行動計画の推進
- ・ 地区ボランティア活動費の助成
- ・ 福祉推進委員活動費の助成
- ・ 福祉推進委員連絡会や研修会の開催
- ・ 福祉まつり等の開催
- ・ 戦没者等追悼式の開催
- ・ 情報紙の発行
- ・ 高齢者等の昼食会や配食
- ・ 高齢者と子どもの交流活動
- ・ 赤い羽根共同募金活動
- ・ 社協会費収納協力 など

② 福祉推進委員活動の支援

支えあいマップづくりをはじめ、福祉推進委員活動全般について相談に応じ、活動を支援しています。

○福祉推進委員研修会を開催（福祉21茅野・茅野市共催）

福祉推進委員、地区社協関係者等を対象に研修会を開催しました。

- ・ 期 日：平成27年2月21日（土）
- ・ 会 場：茅野市役所 大ホール
- ・ 参加者：約160名
- ・ 内 容：第2次福祉21ビーナスプランの紹介
福祉推進委員の役割についての説明、演習：クロスロード

○福祉推進委員を中心とした各区、自治会の取り組み

- ・福祉推進委員会の組織化
- ・高齢者の食事会やお楽しみ会、配食
- ・地区単位で福祉推進委員連絡会を組織化して情報交換、情報誌発行、研修会を開催
- ・区内の花壇の整備やプランターへの花植え、畑作り
- ・お花見会、カレー会
- ・福祉推進委員だよりの発行
- ・福祉や生活の課題を話し合う懇談会
- ・福祉についての講演会や研修会、学習会
- ・困りごとなどについて個別の訪問聴き取り調査
- ・ボランティアや高齢者クラブなどの関係団体による定期的な情報交換
- ・災害時要援護者支えあいマップ（おたがいさまっぷ）づくり
- ・自主防災組織等と協働しての避難訓練
- ・買い物やゴミ出しなどの個別支援活動
- ・区内の見回り、除雪
- ・高齢者宅の訪問、見守り、声かけ など

③ 住民の日常生活支援（個別訪問支援活動の実施）

コミュニティソーシャルワーカーが独居高齢者世帯等を訪問し、必要に応じて様々な支援活動を行っています。

○個別訪問の状況（訪問延べ件数）※末尾資料（p30）参照

9 シャララ・ほっとサービス事業

1,044,775円（1,159,900円）

安心して暮らせるために、ボランティア活動と公的なサービスの中間的位置付として、茅野市社協独自で創設し、実施している住民参加型福祉サービスです。

公的な福祉サービスやボランティア活動などで対応できない困りごとに対して、協力会員として登録した市民が手助けの活動をしています。利用を希望する方も会員登録をしていただき、1時間当たり700円～850円の利用料を負担しています。

○利用実績

	高齢者世帯	障害者のいる世帯	子育て中の世帯
状況	骨折、足腰の悪い方、力仕事に困難な方、認知症、入院中・寝たきり、退院後間もない方など	心の病（うつ病、統合失調症等）を持つ方、視覚障害の方、車椅子の方、難病の方など	母子家庭、障害児家庭、共稼ぎの家庭、親族が遠方の家庭、母親が心の病など
援助内容	掃除、入院中の洗濯、食事作り、買い物、洗濯、話し相手、院内介助、可燃ごみ出し、草取り、よしずかけと取り外し、散歩介助、布団干し、家から病院間の洗濯物届け、すだれかけなど	掃除、院内介助、リサイクルごみ分別出し、採血を病院に届ける、草取り、買物付添い、年賀状宛名書き、買い物、買物付き添い、換気扇カバー取り替え、雪かきなど	喘息の子供部屋の掃除、予防接種時の双子の見守り、母親の試験中の子の見守り、病院の予約、新生児沐浴、障害児水泳教室参加中の下の子の見守り、結婚式出席中の子の見守り、産前の調理など
利用世帯数	34世帯	11世帯	13世帯
延べ利用回数	346回	21回	52回

- シャララ・ほっとサービス運営委員会の開催（委員 9 名）
 - 事業の適正な運営を行うため、計 4 回の運営委員会を開催し協議してきました。
 - ・研修：長野県社協主催 『生活支援サービス協力会員研修』 出席（1 月：5 名）
 - 子育てサポートステップアップ事業養成講座（2 月：5 名）
- 協力会員研修会
 - ・マジックそば打ちを通じて、協力会員同士の交流と、情報交換（10 月）
 - ・協力会員養成研修（12 月）…新規協力会員が 13 名増
- 登録状況
 - ・登録利用会員数：94 名（内 新規 17 名）
 - ・登録協力会員数：41 名

10 ボランティア・市民活動センター振興事業 16,888,006 円（16,303,155 円）

(1) ボランティア・市民活動センター事業

① ボランティア活動相談・コーディネート事業

○相談と支援

ボランティア活動及び市民活動の推進・支援・連絡調整を図ると共に、活動の充実のための環境整備に努めました。

ボランティア・市民活動団体、市民、学校、企業、行政など様々な団体及び個人からの相談に対し、情報提供や関係機関などへのコーディネートを行いました。

- ・相談件数：73 件（災害ボランティア登録関係を含む）

○茅野市ボランティア・市民活動センター登録グループ

- ・登録団体数：125 団体
- ・延べ登録活動者数：3,976 名

② ボランティア広報啓発事業

○情報紙の発行

ボランティア・市民活動センター情報紙「たまご」の発行及び、ボランティア（グループ）活動に役立つ情報発信を行いました。月 1 回、全戸配付 19,100 部

○ボランティアガイダンスの開催

ボランティア活動に関する様々な情報提供を行い、各グループの活動の充実と発展を図るために、総合福祉センターの会場使用、備品貸出、ボランティア保険の説明等を行いました。

- ・開催日 3 月 9 日（月）/ 2 回（昼・夜）に開催
- ・会 場 総合福祉センター
- ・参加グループ 76 団体

ボランティアの方々が安心して活動に取り組めるよう、加入促進を図りました。

○ボランティア保険加入状況

保険の種類	掛金額（単価）	件数	人数
活動保険 基本タイプ A	年 300 円 × 人数	102 件	1,686 人
活動保険 基本タイプ B	年 450 円 × 人数	9 件	24 人
活動保険 天災タイプ A	年 460 円 × 人数	3 件	8 人
活動保険 天災タイプ B	年 690 円 × 人数	5 件	6 人
行事用保険（A 1 プラン）	1 日 28 円 × 人数	57 件	2,971 人
行事用保険（A 2 プラン）	1 日 126 円 × 人数	1 件	272 人
行事用保険（B プラン）	1 日 248 円 × 人数	1 件	18 人

保険の種類	掛金額（単価）	件数	人数
送迎サービス補償（Aプラン）	1日20円×延利用者数	2件	426人
送迎サービス補償（Bプラン）	年間2,000円×法定乗車定員数計	0件	0人
福祉サービス総合補償（Aプラン）	1日17円×人数	1件	25人
福祉サービス総合補償（Bプラン）	1日28円×人数	1件	720人
福祉サービス総合補償（Cプラン）	1日42円×人数	4件	1,100人

- ・保険請求件数 1件
- ・保険金支給件数 1件

○備品の貸し出し状況

備品名	貸出件数	備品名	貸出件数
機材（スクリーン・プロジェクター・テント・CDプレイヤーなど）	59	福祉用具（高齢者疑似体験セット・アイマスク・展示セットなど）	77
イベント用品（ガス2升釜、ガス3升釜、災害用大釜、はっぴ、おんべなど）	235	福祉レクリエーション用品（輪投げ・ダーツ・ビンゴゲームなど）	18
福祉図書、DVDなど	6	車いす（自操用・介護用）	68

③ ボランティア・市民活動センター運営委員会

ボランティア活動・市民活動の主体性を尊重するとともに、センターと協働しながらセンターの事業を推進するため、運営委員会を開催しました。

- ・委員会開催回数：12回
- ・三役会：12回
- ・委員数：15名

④ シャララカレッジ開催事業

年間を通した講座のテーマ「広がれボランティアの輪」に即した連続講座の開催により、ボランティア活動の活性化や、新たな活動者を広げることを目的とし、ボランティアの基本を見つめ直した講座を開催しました。

講座名	開催日／会場 参加者	内容	講師
シャララカレッジ① 茅野市にも災害発生！ あの雪害で動いたボ ランティア ～始まりは“ほっと けない”という気持 ちから・自分ならど うする？～	5月17日（土） 茅野市家庭教育 センター 2階 約110名	平成26年2月14日から15日 にかけて降り続いた大雪を 振り返り、「その時、誰かの ために動いた人は何を思 い、どう動いたのか」を参加 者全員で共有しながら「ボ ランティアとは何か」を考 える機会としました。	《事例発表者》 ・守矢レイ子さん（金沢ボラ ンティアの会） ・小池寿子さん（宮川ボラン ティア愛の会） ・北原広幸さん（金沢上々町 常会長） ・柳沢正広さん（宮川地区コ ミュニティセンター所長） ・唐沢宏さん（長野日报社）
シャララカレッジ② そうだったのか“ボ ランティアきほんの き”「実は知らない！？“ボラン ティアきほんのき”」	8月2日（土） 茅野市役所 8階大ホール 約140名	ボランティアの基本を学び 理解を深め、ボランティア に関する疑問や、日ごろの 活動の中で感じている悩み などを解決することを目的 に開催しました。	・水谷綾さん（大阪ボランテ ィア協会事務局長）

講座名	開催日／会場 参加者	内容	講師
シャララカレッジ③ 聞いて！聞かせて！！ ボランティア ホン トの気持ち ～自由な雰囲気 でボランティアの 魅力を語り合おう	9月20日（土） 茅野市役所 議会棟大会議室 約50名	テーブルごとオープンで自由な会話をとおして、ボランティアに関する意見交換を行い、活動者の方々がどのような気持ちで活動をしているのかを共有しました。《ワールドカフェ形式》	・湯田美明さん（長野県社会福祉協議会）
シャララカレッジ④ 知りあおう！語りあ おう！！ ボランティア 一人 ひとりの“おもい”	11月29日（土） 茅野市役所 8階大ホール 33名	活動者にとってボランティアとは何か、そしてボランティア活動に何を期待するのかを、日頃の活動を振り返り、グループワークを通じ、新たな活動のヒントを考えました。	・戸田千登美さん（日本ボランティアコーディネーター協会会員）
シャララカレッジ⑤ 勇気を出してちょっと 一声！！ ボランティアおさそ い術	3月7日（土） ちの地区コミュニ ティセンター 第1・2会議室 77名	地域や人を巻き込みながら活動をされている方のお話を聞きながら、人の輪・活動の輪を広げていくための具体的な方策を考えました。	《事例発表者》 ・小尾定良さん（上古田ひまわりの会） ・中柄房子さん（おひさまクラブ） ・山田武美さん（幸せ応援団） 《コーディネーター》 ・原房子さん

⑤ 市民活動団体協働事業

市民団体やNPO法人等、諸団体との関わりを積極的に図り、各団体が企画する事業へ参加協力を行いました。

「ひとにぎりのお米（支援米）活動」…平成13年から続いているこの取り組みは、不況やリストラ、倒産などの影響から野宿生活を余儀なくされている方々等を支援するため支援米を募り、各支援団体に送っています。

また、東日本大震災の発生を受け、被災地の仮設住宅で生活されている世帯にも支援（送付及び配布）しました。

○取り組み期間：10月20日（月）～11月28日（金）

○協力して下さった方々：15グループ、個人46名（市民の方）

○収集実績：玄米2,310kg、白米1,080kg、もち米70.4kg、野菜

○送付先：NPO法人おおぞら（大阪府淀川区野宿者支援団体）

SOSネットワーク諏訪（諏訪地区生活困窮者支援団体）

岩手県宮古市赤前仮設住宅（被災地仮設住宅生活者）

脱原発すわ連絡会

ながのパーソナル・サポート・センター

市内、生活困窮者

⑥ 福祉教育実施事業

高齢者や障害のある方との交流や、車いすやアイマスク体験を通して、児童や生徒、先生がたと一緒に『共に生きること・共に学びあうこと』を考えていただくことを目的に実施しました。

開催数	開催学校数	延参加者数
39回	9校	1,077名

⑦ 福祉教育・ボランティア学習研修会開催事業

講師等の都合により開催できませんでした。

⑧ 社会福祉普及校指定事業

小学校・中学校・高等学校を『社会福祉普及校』として指定し、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、他人に対する思いやりの心や主体性を育てるとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることを目的として、各校に30,000円の補助金を交付しました。

学校名	活 動 内 容
永明小学校	「いろいろな人と交流しよう」～養護学校児童、保育園児、地域の方と交流～
宮川小学校	児童会による“地域の方の役に立つ活動”と“共に仲良くする心情を培う活動”
米沢小学校	出前福祉教室（点字の学習・アイマスク体験、盲導犬について）、福寿草の方との交流
豊平小学校	ペットボトルキャップ回収、赤い羽根募金、ケアホーム豊平訪問、障害者体験授業
玉川小学校	玉川地区を笑顔でクリーンにしよう（環境美化、花壇に花を植える）
泉野小学校	福祉交流活動（収集活動・障害のある方との交流・高齢者クラブの方との交流等）
金沢小学校	異年齢・世代間交流、養護施設・障害のある方々との交流
湖東小学校	出前福祉教室（障害者との交流、福祉体験学習等）、わくわく講座（ボランティア講座）
北山小学校	出前福祉教室（手話を覚えよう・目が見えない世界を知ろう等）、人権カルタ、施設訪問
永明中学校	交流活動（地区高齢者との交流、いきいきサロン、ちの保育園との交流）
長峰中学校	三校合同清掃活動、地区花壇づくり
北部中学校	石川文洋さんによる人権・平和（ベトナム戦争）学習講演会
東部中学校	老健施設「やすらぎの丘」訪問・交流活動、奉仕活動、石巻交流バザー、収集活動
茅野高等学校	老健施設「やすらぎの丘」の「やすらぎ喫茶」
小学校：9校、中学校：4校、高等学校：1校 合計：14校	

⑨ サマーチャレんじ開催事業

活動プログラムを体験していく中で、ボランティアへの正しい理解と関心を深め、今後の活動へのステップにすることを目的に実施しました。中学生の参加が多く、例年の3倍以上の方々に体験へ参加していただきました。

実施日	内 容	協力施設	参加者
7月22日（火） ～ 8月31日（土）	福祉施設等でボランティア体験を通じ、施設の役割や利用者などとの交流を深める。	市内の29施設内、実際の体験施設21施設	71名（小学生15名、中学生44名、高校生10名、大学生1名、社会人1名）

(2) ボランティア活動運営事業

① 障害者等の社会参加促進事業

どっこいしょ広場等の運営や、茅野どんぼんにおける「ふれあい連」への参加を通じて、障害者等の社会参加を促進しました。

② 地区ボランティア活動推進支援事業

地区ボランティア活動の充実を図るため、活動内容を把握し支援内容を検討、実施するため、各地区のボランティアの会の会合に地域生活支援系の地区担当者と出席しました。

○地区ボランティアコーディネーター育成支援事業

地区ボランティアコーディネーターが、各地区のボランティア活動について情報交換をし、理解を深めました。(地区社協会長：推薦・社協会長：委嘱)

- ・連絡会の開催 計7回(委員：17名)
- ・研修会の開催 講師 原田正樹氏 4月28日(月)
- ・先駆的活動の視察研修 11月17日(月)

視察地：長野市のサロン活動

目的：サロンを通じた介護予防や閉じこもり防止と見守り活動について

○地区(区・自治会)ボランティアの活動

地区(区・自治会)では、“閉じこもり”や“孤独”を防ぎ、「寝たきり予防・認知症予防」につながるといわれている『いきいきサロン活動』をはじめ、各集落で工夫をしてボランティア活動が行われており、住民同士の交流の場が広がっています。

(開催地区(9)・行政区数(62)：計71か所)

開催内容	開催回数	利用者数	ボランティア数
いきいきサロン(お茶会)	88(23)	1,542(340)	711(46)
いきいきサロン(昼食会)	148(7)	3,037(455)	1,582(148)
宅配(配食)弁当	47(8)	1,931(1,280)	542(262)
その他(料理講習会、世代間交流)	41(29)	618(411)	456(462)

※その他の数値には、例会等の活動が反映されていない

※()内の数字は、地区ボランティアとして開催した実績

[活動内容]

- ・高齢者等への弁当の宅配 … 地区社協、民生児童委員、福祉推進委員と協働
- ・高齢者等への昼食会…地区社協、民生児童委員、福祉推進委員と協働
- ・料理教室、おやき作り、まゆ玉作り、福神漬け作り
- ・児童の登下校の見守り
- ・育児相談会への支援協力
- ・水鉄砲づくり、しめ縄づくり(世代間交流)
- ・地区内の福祉祭りへ協力
- ・花壇作り、ふれあい囲碁 ほか

○地区ボランティアグループの先進地視察及び視察受け入れ

地区ボランティアグループ会員の資質向上や情報収集と交流を目的として実施しました。

<視察>

開催日	実施グループ	視察先
8月26日(火)	宮川地区ボランティア愛の会	松代町 「まちの縁側」
8月28日(木)	ちの地区ボランティアの会	大桑村 地域の茶の間「ますや」
	中大塩地区ボランティアの会	岡谷市 児童養護施設「つつじが丘学園」 諏訪市 「社会福祉法人こころ」
10月29日(水)	米沢地区ボランティアの会	長野市防災市民センター
11月25日(火)	玉川地区ボランティアの会	塩尻市市民交流センター「えんぱーく」等
11月28日(金)	湖東地区ボランティアの会	有料老人ホーム「あったかホーム福寿草」 サービス付き高齢者向け住宅「ウイズ茅野」等
12月16日(火)	豊平地区ボランティアの会	特定施設「ケアホーム豊平」等

<視察受け入れ>

開催日	受け入れグループ	視察団体
9月17日（水）	宮川地区ボランティア愛の会	松本市寿台地区ボランティア部会
11月12日（水）	ボランティア・市民活動センター	秩父市社会福祉協議会（理事・評議員）

③ いきいきサロン活動支援事業（地区ボランティアグループ活動支援事業）

茅野市いきいきサロンサミット2014 … 活動を振り返り、その魅力や意義を共有するため、サロン活動の充実や活性化を図ることを目的に開催しました。

○開催日：12月2日（火）

○会 場：茅野市役所 8F大ホール

○参加者：91名

（発表者）3地区のサロン活動実践者

（ワークショップ）マイムパフォーマー 高橋淳

④ ボランティア・市民活動環境整備事業

茅野市における地域福祉の向上を目指し、福祉活動に関する地域住民及び民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を育成及び助成することを目的として、ボランティアグループの活動に対し、必要な資金の助成を行いました。なお、平成26年度は10月に第2次募集を初めて行い2団体へ交付しました。

交付実績：30団体 計1,083,000円

⑤ ふれ愛フェスティバル開催事業

「参加する人みんなが楽しく笑顔で過ごせる企画にしたい」「お互いの活動の良いところを発見し合い、共感し合う機会にしたい」そんな想いを企画に込めて開催しました。

○開催日：10月13日（月・祝）

○会 場：茅野市家庭教育センター・ちの地区コミュニティセンター

○参加者：約200名

○内 容：ボランティア体験コーナー、ボランティアグループステージ発表

懐メロ元気体操教室（講師 斉藤恵理子氏 他）

講演『深めよう地域の絆 高めよう地域の防災・福祉力～災害にも強い地域を目指して～』

講師：桑原英文氏（FEEL Do代表）

⑥ ボランティア連絡協議会活動支援事業（加入団体：52団体）

センターとの協働事業を実施する団体として支援しました。

主な事業内容は、緑のカーテン大作戦、社協会長（市長）と語る会、茅野どんぱんふれあい連、チャリティーマーケットなどです。

⑦ 災害時に備えた体制整備と災害ボランティア活動推進事業

『災害ボランティアセンター』の実践訓練として、茅野市防災訓練に募集をしたボランティアの方々と共に参加をしました。

○開催日：9月7日（土）

○会 場：茅野市総合体育館／泉野小学校体育館

○参加者：17名

○内 容：避難物資の受入れ・搬送訓練、避難所立ち上げ訓練

また、災害ボランティア登録者で組織した「東北応援プロジェクト」登録者に協力を求め、5月11日（土）に宮川かんてんぐらで開催された「石巻復興支援市」にも協力をしました。

11 日常生活自立支援事業

1,483,634円 (1,363,787円)

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な方に対して、住み慣れた地域の中で生活ができるように、福祉サービスを利用するときの手続きや利用料の支払いのお手伝い、または、日常生活に必要な預貯金の出し入れや書類等の預かりを支援します。長野県社協が事業の実施主体となり、当市社協は基幹的社協に位置付けられています。

当市社協では、担当職員（専門員）を配置し当事業に関する相談に応じるほか、富士見町と原村を管轄し、預貯金の払戻しや相談に応じる生活支援員を茅野市3名、富士見町3名、原村1名の7名を配置し、利用者の訪問援助を中心に事業を実施しました。

また平成26年度は、専門員と共に保健福祉サービスセンターのCSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）が、金銭の受け渡し等の実務を含め訪問活動を行いながら課題解決を図ると共に、事業の普及、啓発に努めました。

○生活支援員 茅野市：横井幸子さん、中村アツ子さん、後藤シノブさん

富士見町：名取いつ子さん、小林てるさん、富士見町社協 篠原貴美子 担当

原 村：原村社協 牛山亜矢子担当

○相談件数等 （回数）216回、（件数）20,031件

○契約内容 新規契約締結件数：10件

契約締結累計： 89件

実契約件数： 34件（平成27年3月31日現在）

（内訳：茅野市：27件、富士見町：3件、原村：4件）

年度内 解約件数：2件、解約件数累計：55件

12 暮らしのつなぎ資金貸付事業

70,000円 (90,000円)

市内の要保護世帯及び母子世帯等に対し、一時生活のつなぎ資金を必要とする場合の短期（返済期間は6ヶ月以内）の無利子融資（貸付限度額4万円）で、自立更正等を図る自主事業として実施しました。

また、平成26年度は長年償還指導を行う中で不能債権として判断した8件、総額294,000円について徴収不能処理を行いました。

資 金 名	平成26年度貸付		平成25年度貸付		貸付残額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
暮らしのつなぎ資金	3	70,000円	3	90,000円	11	300,000円

○貸付決定数：3件

○貸付金額計：70,000円

○新規相談人数：18人

○償還完了者： 7人

○訪問、電話等による家計相談・償還指導件数359件 *再掲（生活福祉資金相談との合計）

13 地域活動支援センター事業（ピアあすなろ）

5,160,712円 (5,607,545円)

○通所人員 3名（平成26年4月1日現在）、2名（平成27年3月31日現在）

○作業内容 タップ加工（雌ネジ立て）・製品検査、あすなろセンター第1部作業手伝い

○取引業者 (有)進和製作所、(有)茅野工業、(有)ミサキ工業

○総収入額 699,712円（平成27年3月31日現在）

○平均賃金 (月) 75,952円／1人、(年1回手当計) 92,096円／1人

○目標

- ・各自の身体状況に応じた作業をすることにより生きがいを得る。
- ・自分達の力で加工、検査した製品が世の中で大勢の人々に役立っていることに、自覚と喜びを持ち作業に取り組む。
- ・あすなろセンターにおいて習得した技術と生活習慣を基に、自立して積極的に社会参加する。
- ・自主通所することにより社会生活の場を広げ、多くの作業種目を体験し、各行事を通して仲間と関わりあいながら、ボランティアグループ等(茅野市民生児童委員、虹の会など)との交流を深め、生活習慣の改善や心身向上等身体機能の保持をめざした活動をする。

○諸活動等

(ア) 営業活動

最近の経済情勢は、円高などの影響もあって企業の海外進出を余儀なくされるなど、依然として厳しい状況にあります。

積極的に情報収集を行いながら、安定的な受注量確保のため受注先への協力依頼と、厳しい納期にあってもこれに応えるべく納期の厳守、不良品を出さない等最大限の努力をして受注先との信頼関係を図るとともに、作業者の意識と協力体制の改善を図っており、厳しい経済状況の中、工賃収入は70万円弱となりました。

(イ) 通所・退所状況

平成26年4月から新規入所者を迎え3名が通所していましたが12月から1名があすなろセンターB型へ移動しました。通所者が作業を通して技術を習得され、一般就労に向けて社会参加できるよう推進しています。

(ウ) 年間を通して実施したもの

- ・機能訓練として月1回程度軽スポーツ訓練等を実施
- ・民生児童委員12地区、延べ人数62名との訪問交流
- ・手話ダンスボランティア「虹の会」との交流会を毎月1回実施
- ・誕生会を当該月中に実施
- ・諏訪養護学校生徒現場実習受け入れ
- ・定例社協職員会議(毎月中旬実施)
- ・定例職員会議(毎月下旬実施)

(エ) 個々に実施したもの

- ・お花見散歩 (4月24日)
- ・諏訪地区身障者スポーツ大会 会場 茅野市運動公園 (5月31日)
- ・避難訓練 通所者・職員26名参加 (6月17日)
- ・あすなろセンター合同納涼祭 (7月26日)
- ・「第33回ふれあいのつどい」への参加 茅野市民館 (8月31日)
- ・地震避難訓練 通所者・職員28名参加 (9月16日)
- ・ミニ運動会 ちの地区コミュニティセンター (10月21日)
- ・クリスマス会 「ごんじいさんの友だち」 (12月5日)
- ・食事会 (3月31日)

14 居宅介護等事業（介護保険・障害者総合支援法）

167,802,258円（166,989,273円）

（1）居宅介護支援事業

介護支援専門員が依頼を受け、利用者に応じた適切な「居宅介護サービス計画書」を作成し、計画に基づいたサービスが提供されるようサービス提供事業者等と連携を図り、利用者が安心して在宅生活を送れるよう援助しました。

（2）訪問介護事業

東部・西部訪問介護事業所のホームヘルパーが、高齢者及び障害者宅を訪問し、「訪問介護計画書」に沿い、安心して在宅生活を送られるよう身体介護・生活援助の介護サービスを提供しました。

（3）通所介護事業

西部デイサービスセンターにおいて、「通所介護計画書」に沿った入浴、排泄、食事の介助、機能訓練その他必要な介護サービスを提供しました。

○事業実績表（次ページ参照）

○研修会実施及び参加状況

（ア）内部研修（介護スタッフ及び合同ヘルパー研修会）

- ・社協事業計画説明・グループに分かれ討議・連絡会議等（4月23日）
- ・「介護スタッフとして正しい接遇対応について」（勉強会）（6月25日）
- ・「高齢者のうつ病について」講師 松村作業療法士（勉強会）（8月26日）
- ・「身近な材料を使用して喜ばれる料理講習会」東部訪問介護（10月21日）
- ・「高齢者が食べやすく喜ばれる料理講習会」西部訪問介護（10月22日）

（イ）外部研修

- ・障害者相談支援従事者研修会（松本市）（6月19日～7月11日）
- ・障害者同行援護従業者養成研修会（諏訪市）（7月19日～7月22日）
- ・介護保険事業所県集団指導研修会議（松本市）（8月5日）
- ・介護支援専門員研修《専門研修課程》（松本市）（9月24日～10月17日）
- ・諏訪広域介護保険事業者研修会（茅野市）（10月14日）
「認知症の“人の気持ち”」～疾患と人の両面からのアプローチ～
- ・障害福祉事業所県集団指導研修会議（松本市）（10月23日）
- ・諏訪広域介護保険事業者研修会（茅野市）（2月24日）
「看取りについて」「新しい総合事業等の開始について」
- ・平成27年度介護報酬改定・介護保険制度改正説明会（3月2日）
- ・茅野市サービス提供事業者、介護支援専門員連絡会議（3月19日）
「虐待の防止と事業者のリスク管理について」
- ・介護保険事業所サービス提供者会議・・・毎月出席しています。

平成26年度 事業実績表

居宅介護事業所

居宅介護支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用者数	115	112	113	115	106	107	116	117	114	113	112	124	1,364
介護予防利用者数	15	14	14	14	16	16	15	14	16	13	13	18	178

東部訪問介護事業所

訪問介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	80	83	84	86	77	86	91	85	78	76	78	78	982
身体介護 回数	472	475	455	430	365	420	496	389	311	285	294	349	4,741
生活援助 回数	254	278	276	312	334	363	379	358	355	315	304	331	3,859
身体生活 回数	117	122	156	132	125	151	178	108	89	69	75	80	1,402
介護予防 回数	88	81	85	83	67	67	82	75	81	69	74	81	933
計 回数	931	956	972	957	891	1,001	1,135	930	836	738	747	841	10,935

西部訪問介護事業所

訪問介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	79	79	78	79	86	78	84	82	79	79	70	82	955
身体介護 回数	407	431	407	439	406	407	439	414	437	484	434	577	5,282
生活援助 回数	338	324	321	329	329	288	314	274	283	259	215	254	3,528
身体生活 回数	130	84	83	90	80	73	90	84	91	125	156	197	1,283
介護予防 回数	149	161	157	180	188	188	188	163	171	157	158	166	2,026
計 回数	1,024	1,000	968	1,038	1,003	956	1,031	935	982	1,025	963	1,194	12,119

西部デイサービスセンター

通所介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険実人数	68	66	66	64	62	65	70	67	64	55	55	58	760
延利用回数	497	521	481	539	479	512	562	495	461	377	392	445	5,761
介護予防実人数	12	13	15	15	15	15	13	13	13	12	12	15	163
延利用回数	62	72	70	89	77	73	70	63	71	59	52	79	837

障害者サービス（居宅介護）（同行援護）

(人)

自立支援法 (身障・知的・精神)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東部訪問介護	6	6	6	6	4	4	5	4	4	4	4	4	57
西部訪問介護	12	10	12	11	11	9	9	11	10	11	11	11	128
利用者数計	18	16	18	17	15	13	14	15	14	15	15	15	185

障害者サービス（移動支援）

(人)

自立支援法 (身障・知的・精神)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東部訪問介護	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	37

15 就労継続支援B型事業

あすなろセンターにおいて、民間企業等に雇用されることが困難な障害者の方に就労の機会を提供し知識や能力向上の訓練等を行いました。

(1) 精密作業部門

○通所人員 3名（平成26年4月1日現在） 4名（平成27年3月31日現在）

- 作業内容 タップ加工（雌ネジ立て）・AT組立・製品検査
- 取引業者 (有)進和製作所・(有)茅野工業・(有)ミサキ工業 ヨシトミマーシン(株)
- 総収入額 3,062,748円（平成27年3月31日現在）
- 必要経費 807,932円
- 実質収入額 2,254,816円
- 平均賃金 46,975円（4人としての1ヶ月平均）
- 81,509円（年2回の平均手当／4人）

○目標

- ・身体等の障害を乗り越え、機能に応じた作業に喜びを得る。
- ・自分達の力で加工、検査した製品が世の中で大勢の人々に役立っていることに、自覚と喜びを持ち作業に取り組む。
- ・あすなるセンターにおいて習得した技術と生活習慣を基に、自立するよう積極的に社会参加する。
- ・賃金向上計画に基づき、各利用者賃金が平成26年度対比を上回るように、発注先を確保できるように努める。

○諸活動等

- ・営業活動

最近の経済情勢は、ここにきて円安傾向が見られるものの、長引いた円高などの影響はまだまだ回復せず、依然として厳しい状況にあります。

積極的に情報収集を行いながら、安定的な受注量確保のため発注先への協力依頼と、厳しい納期にあってもこれに応えるべく納期の厳守、不良品を出さない等最大限の努力をして発注先との信頼関係を図るとともに、作業者の意識と協力体制を整え手作業を進めてまいりました。厳しい経済状況の中ではありましたが、平成26年8月から新規発注先が増え受注金額の総額は前年対比18%増の300万円を突破しました。

○通所・退所状況

平成26年4月当初は3名の通所者でしたが、年度途中で1名がピアあすなるから入所され、4名の通所者で頑張っています。

(2) 軽作業部門

- 通所人員 18名（平成26年4月1日現在）、19名（平成27年3月31日現在）

○作業内容

ボカシ製造・販売、寒天袋詰め作業、にんにくの皮むき作業・スティック焼印加工、安全ピン袋詰め作業、紙の型抜き、ナット袋詰め、諏訪合同庁舎清掃作業、上古田公民館清掃作業、牛乳パック収集、アルミ缶・スチール缶収集、看板製作、シュレッター作業、赤い羽根作業

○取引業者

- ・寒天：(有)イリイチ
- ・にんにく：レストラン梅蔵
- ・スティック焼印：相吉産業
- ・清掃・牛乳パック：長野県セルフセンター協議会
- ・缶類：(有)手澤商店他
- ・型抜き：プリテック

- 総収入額 2,517,480円（平成27年3月31日現在）

- 必要経費 230,890円

- 実質収入額 2,286,590円

○平均賃金 10,029円(19人としての1ヶ月平均)、37,905円(年2回の平均手当/19人)

○目標

- ・自主通所することにより社会生活の場を広げ、多くの作業種目を体験し、各行事を通して仲間と関わりあいながら、ボランティアグループ等(茅野市民生児童委員、虹の会など)との交流を深め、生活習慣の改善や心身向上等身体機能の保持をめざした活動をする。
- ・賃金向上計画に基づき、各利用者賃金が前年対比を上回るように、発注先を確保できるように努める。

○諸活動等

(ア)年間を通して実施したもの

- ・機能訓練として月1回程度軽スポーツ訓練等を実施
- ・民生児童委員9地区、延べ人数57名との訪問交流
- ・手話ダンスボランティア「虹の会」との交流会を毎月1回実施
- ・誕生会を当該月中に実施
- ・諏訪養護学校生徒現場実習受け入れ
- ・定例社協職員会議(毎月中旬実施)
- ・定例職員会議(毎月下旬実施)

(イ)個々に実施したもの

- ・平成26年度保護者会総会 (4月11日)
- ・お花見散歩(横内北公園) (4月24日)
- ・諏訪地区身障者スポーツ大会 会場 茅野市運動公園 (5月31日)
- ・避難訓練及び消火訓練 利用者・職員27名参加 (6月17日)
- ・「第33回ふれあいのつどい」への参加 茅野市民館 (8月31日)
- ・ワンラブ演奏会 (8月19日)
- ・音楽ボランティア「ベルの会」(ハンドベル)訪問 (9月4日)
- ・地震想定避難訓練 利用者・職員26名参加 (9月16日)
- ・ミニ運動会 ちの地区コミュニティセンター (10月21日)
- ・クリスマス会 「ごんじいさんの友だち」 (12月5日)
- ・会食会 (3月31日)

(ウ)通所者の状況及び課題

平成26年度は諏訪養護学校の卒業生の入所はありませんでした。10月には、1名が入所、12月にはピアあすなろからB型へ移行され19名となりました。

平成24年度からの就労継続支援B型事業所への移行に伴い、より安定継続した収入の確保の取り組みが必要となります。これからも施設等の体制を整え、地域活動支援の場として仕事、体力、生活面の指導に力を入れ、通所者が一社会人として自立し、社会参加できるよう進めて参ります。

(エ)受注状況

寒天事業者(有)イリイチ商店さんのご理解ご協力により、寒天の袋詰め作業の受注をいただいております。収入の主な作業として大勢で取り組んでいますが、製品への不純物混入防止を図るため、封入までの確認検査を徹底するなどの対応のため、製品の完成までには時間がかかるとともに、納品数量も平成25年度を下回りました。

9月には、スティックの箱詰めから焼印作業に変わり定着すれば安定した収入が見込まれます。利用者の工賃アップに向けて受注を安定的に確保し、他の仕事の開拓等を積極的に進め、収入の確保を図りたいと考えています。

(2) 障害者相談支援事業

平成26年12月に「指定特定相談支援事業所」をあすなろセンターに開設し、市役所や保健福祉サービスセンターからの問い合わせや障害のある方からの相談に応じたり、必要な情報の提供及び助言等を行いました。

また、障害のある方が障害福祉サービスを利用する際には、各関係機関と連絡を取りながらサービス等利用計画書を作成し、関係者を招集してサービス等関係者調整会議を開催するとともに承認された計画書を市役所に提出しました。

○諸活動等

(ア) 営業活動

指定特定相談支援事業所を開設したことを、市役所福祉関係者へ周知しました。

諏訪圏域障害者総合支援センター「オアシス」にも連絡し、各関係機関へ周知していただきました。

(イ) 相談支援状況

- ・相談件数 20件 (内訳 茅野市18件、諏訪市2件)
- ・計画作成数 16件 (内訳 茅野市14件、諏訪市2件)

ボランティア活動助成金 交付団体

	団体名 代表者名	結成年月日 人数	交付申請 金額 (円)	交付決定 金額 (円)	助成対象申請事業内容
1	ちの地区ボランティアの会 五味富子	平成9年1月 176	50,000	50,000	手作り弁当。ボランティア研修、世代間交流、「いきいきサロン」の開催。
2	宮川ボランティア愛の会 茅野清子	平成5年11月 208	50,000	50,000	宮川地区「いきいきサロン」開催事業。出前福祉講座開催。
3	米沢地区ボランティアの会 大下京子	平成5年2月 72	50,000	50,000	いきいきサロン、宅配弁当、昼食会、視察研修。
4	玉川地区ボランティアの会 伊東ますみ	平成4年11月 152	50,000	50,000	いきいきサロン、宅配おやき作り、世代間交流。
5	金沢ボランティアの会 小松雄三	平成6年4月 94	40,000	40,000	いきいきサロン、料理講習会の開催。
6	湖東ボランティアの会 牛山たみ	平成9年4月 42	50,000	50,000	地区・集落でのいきいきサロンの開催。
7	北山ボランティアの会 朝倉美芳	平成7年3月 42	50,000	50,000	地区・集落でのいきいきサロン、宅配弁当。
8	はなみずきの会 (中大塩) 宮坂勝彦	平成2年7月 33	40,000	40,000	ふれあい交流の場づくり、宅配弁当、いきいきサロン。
9	エンジェル絵手紙の会 北田裕子	平成11年7月 27	35,000	35,000	絵手紙講座の開催、市内の社会福祉施設へ絵手紙を配布、施設での絵手紙作成を通じての交流。
10	おひさまクラブ 中柄房子	平成23年12月 17	45,000	45,000	実践での育苗・花壇づくり(センター周辺花壇)、苔玉講習会の開催、ふれあいフェスティバルでの体験の場づくり。
11	親子うんどうサークル ママだっこ 野口留里子	平成25年4月 67	50,000	50,000	親子での運動の中でスキンシップと、子供とのより良い関わり方を学ぶための居場所づくり。
12	親子サークルたんぽぽ 両角紗恵子	平成3年 17	30,000	30,000	親子のふれあい交流事業、子育てに関する講演会の開催。
13	おやじの出番 伊東俊夫	平成14年4月 10	20,000	20,000	障害者と一緒に旅を楽しむ、日帰り旅行を企画し実施する。
14	傾聴パートナー「あ・うん」 伊藤真由美	平成15年11月 16	20,000	20,000	施設利用者との交流活動、傾聴活動につなげるための認知症・うつなどに関する講演会。
15	すずめのお宿 両角治江	昭和63年3月 11	10,000	10,000	月4回(週1回)、季節に合わせたいきいきサロン開催。
16	大正琴ロマンハーブの会 伊藤和子	平成9年4月 28	36,000	36,000	福祉施設等でのボランティア演奏、レベルアップのための研修、子どもたちを対象とした体験学習会。
17	玉川やんちゃサークル 松村由香里	平成17年11月 23	24,000	24,000	親子交流と子どもたちの体験活動。
18	茅野おやこ劇場 中島裕美	昭和63年12月 191	50,000	50,000	表現遊びを通して、親子で遊ぶ楽しさを実感するためのワークショップ開催。
19	茅野市マジッククラブ 北原孝生	昭和60年4月 19	30,000	30,000	福祉施設や保育園でのマジック披露、小中学校クラブ活動の手伝い。
20	茅野市要約筆記グループ「ひまわり」 山本博子	平成12年4月 8	13,000	13,000	中途失聴や難聴者への情報保障と交流。要約筆記技術の体験講習会の開催。

	団体名 代表者名	結成年月日 人数	交付申請 金額 (円)	交付決定 金額 (円)	助成対象申請事業内容
21	茅野レスキューネット 宮外光夫	平成17年3月 15	50,000	50,000	災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練、災害に関する講習会・学習会の開催。
22	茶々と倶楽部母の輪 木村かほり	平成20年12月 38	45,000	45,000	いじめ・不登校の悩みを持つ親の語り場所づくりと、親子参加でのこどもの居場所づくりや、お泊まり会の企画など。
23	のいちごの会 伊藤美穂子	平成25年4月 44	43,000	43,000	幼児・未就園児と保護者の方と一緒に楽しむ自然観察、お散歩、野外炊飯。
24	パーキンソン病からの贈り物の会 両角いく子	平成14年3月 25	30,000	30,000	パーキンソン病の治療に関する講演会、音楽、運動の正しい理解普及資料の作成。
25	腹話術友の会茅野 水代彰子	平成5年12月 10	50,000	50,000	腹話術を生かした施設訪問。講習会。機関誌の発行。
26	ふれジョブちの 林直樹	平成26年4月 20	50,000	30,000	障害のある子どもそうでない子ども一緒に生きていくことができる地域社会を共に創る活動。
27	ボランティアグループ 幸せ応援団 山田武美	平成22年3月 20	27,000	27,000	認知症サポーター研修や認知症予防に関する講座の開催。
28	米沢読書ボランティアぽっかぽか 立木ひろみ	平成12年9月 19	20,000	20,000	小学生を対象に読み聞かせや人形劇、朗読。未収園児から大人までを対象にパネルシアター・読み聞かせなど。
29	押花なでしこの会 両角たか	平成14年3月 7	30,000	30,000	施設での押し花作品の制作を通じたふれあい活動。どっこいしょ広場作品展示。
30	傾聴ボランティア ひだまり 中村アツ子	平成17年10月 23	15,000	15,000	新しい人材の育成と、会員の資質向上を図るための、講習会の開催。
合計	交付団体数		30	30	
	交付金額		1,103,000	1,083,000	

平成25年度 : 35件 1,295,311円